



2022年3月4日 第2022-15号
 【発行】 J A M
 【発行責任者】 中井寛哉
 【編集】 総合政策グループ
 TEL : 03-5860-6150
 E-Mail : seisaku@jam-union.jp

「令和4年度国土交通省土木工事・業務の積算基準等改訂」について

賃金引上げ・原材料の高騰を反映

国土交通省は2月24日に総合評価落札方式にも関わる令和4年度の積算基準の改訂を行うと発表した。4月1日以降の入札に適用される。
 特に工事にかかわる一般管理費等率の改定は、本社経費の増加を反映した。鋼橋積算基準の改定では、間接工事費率や材料費の改定の他に桁輸送費の燃料費の高騰も踏まえて改定される。

また、公共事業予定価格の算出に用いる「公共工事設計労務単価」は平均2.5%引き上げ21,084円に3月1日より変更されている。

地方自治体にも情報提供を行い、基準を共有する。

このことは日頃 JAM が訴えている価格転嫁の考えと合致しており、歓迎するとともに、公共事業のみならず広く波及することが望まれる。

改訂項目

- ▶ **働き方改革に取り組める環境整備**
 - ・ 週休2日公示における間接工事費等の補正
- ▶ **i-Construction のさらなる拡大**
 - ・ 小規模土工に対応した ICT 実施要領等の策定
 - ・ 三次元起工測量及び3次元設計データ作成費用見積もり参考資料の改訂
 - ・ 3次元点群測量の標準歩掛の新規制定
- ▶ **円滑な施行体制の確保**
 - ・ 小雪時における除雪工事の積算（清算時）の施行
 - ・ 大規模災害における復興係数・復興歩掛（継続）
 - ・ 一般管理費等率の改定
 - ・ 鋼橋積算基準の改定
 - ・ 土木工事標準歩掛
 - ・ 思考パッケージ関係
 - ・ 電気通信に関する新規歩掛の制定
 - ・ 機械設備に関する歩掛け等の改定
 - ・ 建設機械等損料
 - ・ 設計業務等標準歩掛
- ▶ **共通仕様書等の改定**
 - ・ 土木工事共通仕様書等
 - ・ 業務共通仕様書等

(8)鋼橋積算基準の改定

○鋼橋製作工の間接工事費、材料費について、製作現場の経費などの実態を踏まえ改定。
 ○桁輸送費について、燃料費などの輸送費用の実態を踏まえ改定。

【鋼橋製作工】

●間接工事費

	現行	改定
間接労務費率	37.6%	40.8%
工場管理費率	28.8%	33.5%

●材料費

寸法エキストラ

種別	現行	改定
ガーダー形式	1,000円/t	1,200円/t
ボックス形式	1,600円/t	1,900円/t

ロス率(割増率)

種別	現行	改定
鋼板	15%	17%

スクラップ率

現行	改定
70%	80%

副資材費(溶接などの消耗材料)

現行	改定
12,000円/t	16,400円/t

(参考)鋼材単価の算出式
 鋼材単価=(ベース単価+エキストラ)×(1+ロス率)-(スクラップ単価)×スクラップ率×ロス率

●桁輸送費

種別	現行	改定
飯桁(鋼床版飯桁除く)	Y=34.71X+ 8,047	Y=35.07X+13,051
鋼床版飯桁	Y=18.44X+12,409	Y=33.11X+14,686
箱桁(鋼床版箱桁除く)	Y=29.31X+ 8,572	Y=29.94X+12,939
トラス・アーチ・ラーメン	Y=22.03X+ 7,040	Y=24.95X+14,523
横断歩道橋	Y=55.88X+15,778	Y=80.84X+11,938

Y:輸送単価(円/t)
 X:輸送距離(km)